

子育てのこと何でも聞きます議会



富津市議会では、市民に開かれた議会を目指し、平成27年10月から議会報告会を開催しています。平成31年1月20日・27日に市民会館・富津市役所で「子育てのこと何でも聞きます議会」を開催しました。当日は多くの方々のご参加とご意見等をいただき、ありがとうございました。各会場では、活発な意見交換が行われ、ご参加いただいた市民の皆様からのご意見、要望等の概要は以下のとおりです。

皆様からいただいた貴重なご意見を市議会で検討し、市長に伝えるなど、今後の議会活動に生かしてまいりたいと思います。

主な意見・要望等

- ①通学時に児童・生徒がイノシシ等の有害鳥獣に遭遇しないかが心配
- ②若い世代が残るような施策を検討して欲しい
- ③子育て世代が集まれる場所がない。子育てを相談する相手がいない
- ④出産後、子育ての際、行き場が無く孤独だった。いざ子どもを産んだ後にバックアップする体制・環境があるということが大事ではないか
- ⑤公園が少ない。公園があっても、遊具が少ない、手入れが行き届いていない
- ⑥富津イオンの空き店舗等を、公園として活用させてもらうことは出来ないか
- ⑦移住をしてもらって、定住してもらえるような施策を
- ⑧子どもたちが高い水準の教育を受けられるような仕組みを作って欲しい。今の時代に求められているもの、例えば英語教育やプログラミング教育、そのような特化した教育環境を作り、富津市の子育て政策のアピールの1つにしてはどうか
- ⑨市役所に「なかよしスペース」があるのを始めて知った。周知が行き届いていない
- ⑩育児をサポートしてくれる施策（ファミリーサポート制度）が使いにくい
- ⑪移動図書館・児童館等の利便性を高めて欲しい。もっと子どもが利用出来る時間に回って欲しい
- ⑫子育て世帯の流出抑制対策として、地域のコミュニティ力を向上させる手立てを打つべきではないか
- ⑬残存する学校の魅力をアップさせるべきではないか
- ⑭「子育て日本一」とは、どのような子育て施策をもって、日本一と言うのか。漠然としたスローガンで、何を売りにしたいのかが見えない。ここをもう一度考えてみる必要があるのではないか
- ⑮栄養指導の際に、実際に試食等が出来るが良い
- ⑯乳幼児健診の場は、子育て世代の大事なコミュニケーションの場。特に入園（所）前の児童を抱える世帯にとって、健診の場は他の子育て世代の保護者と話し合える貴重な場であることを理解して頂き、児童・保護者同士のふれあいの場として発展出来るような設営を検討して欲しい
- ⑰現在、利用者が定員いっぱいとなっていて、3年生になると、もう学童を利用することが出来ない状況になりつつある。学童保育の運営状況の実態をもっと理解し、対策を検討して欲しい



※意見・要望等に対する市議会としての活動状況は、議会ホームページや議会だよりなどで報告してまいります。

ぜひ、議会傍聴に！

6月定例会日程

6月4日（火）	10時	開会
12日（水）	9時30分	議案の上程
13日（木）	9時30分	一般質問
14日（金）	9時30分	一般質問
18日（火）		常任委員会
19日（水）		常任委員会
24日（月）	10時	委員長報告 議案審議 閉会

※日程は変更になることがありますので、議会事務局（80・1331）へお問い合わせください。

編集後記

新しい目標をたてて、新年度が始まりました。私たちが納めた税金が、暮らし福祉の充実に使われているか、しっかりと見つめていきたいと思います。

市のホームページは、知りたい情報がたくさん詰まっています。インターネットを使わない方も、わからないことは遠慮なく職員や議員に聞いてください。みなさんのために働くのが仕事ですから。（松原かずこ）